# 「くまがやエコライフフェア２０１６」に出展

平成２８年５月２９日　毎日新聞

熊谷

## 環境月間に向けフェア

６月の環境月間を前に、市民に環境意識を高めてもらおうと「くまがやエコライフフェア２０１６」（同フェア実行委主催）が28日、熊谷市内の２会場で始まった。エコ商品の展示や講演があり訪れた人たちは環境保全の大切さを学んだ。29日まで。

フェアには企業や市民グループなど28団体が参加。ワークショップや展示でリサイクルや省エネなどをアピールした。コミュニティ広場会場では、電気工事などを行う会社、イーテクノス（熊谷市）がエコ工作コーナーを設置。太陽電池を使った模型作りに挑戦した吉野滉大君(11)は「いい経験だった。また作ってみたい」と満足そう。同社の矢嶋隆男さんは「子供たちに電気の大事さを知ってほしい」と話した。

八木橋会場では市内の小学生が描いた環境ポスター作品展があり、応募総数3128点から選ばれた100点の作品が展示された。

また市の環境保全に貢献した個人、団体に贈る「くまがや環境賞」の表彰式もあった。今年は、空気巡視員として継続的に活動している野口保長（やすなが）さん▽温暖化対策の推進に貢献した田伏信義さん▽資源の活用・環境美化活動を続ける、上須戸ハイツ自治会▽地域全体で環境教育に取り組んでいる市立江南南小学校――が受賞した。【橋本政明】